

「第2回アドバイザー会議」における質問内容及び回答内容

調書番号:9 事業名:中小企業労働施策アドバイザー設置事業費

| アドバイザー   | 質問内容   | 説明者職・氏名 | 回答内容   |
|----------|--|---------|--|
| 諸平アドバイザー | <p>アドバイザーは幅広い内容を説明しているので時間もかかるだろうと感じた。法改正が見込まれるとなると、更に専門的な内容になるため、勉強してからの訪問となれば、アドバイザーの資質又はどういう人に担ってもらおうかということも重要になってくると思うが、どのように考えているか。</p> <p>アウトリーチ支援事業が始まるとなれば、現アドバイザーは働き方改革アドバイザーとして役割を担うのか、それとも働き方改革アドバイザーはまた別の者になるのか。</p> | 課長・上野 睦 | <p>今は7年目のベテラン職員に担ってもらっている。年齢的なものもあるので今後も引き続き受けもらえるかは分からないが、できるだけ労務管理に詳しい方、また、企業に積極的に出向かなければいけないので、今後新しい方をお願いするとしても、そういったことを苦にしない方をお願いしたいと考えている。</p> <p>現アドバイザーがいるのでその方も含めて拡充できれば更にいいが、国の教材を活用することによって、現アドバイザーのレベルアップを図り、国の助成事業を活用しながら、企業の悩みに応じた改善プランを提案できるよう、変革していきたいと考えている。</p> |
| 五味アドバイザー | <p>各企業への配布書類は内容が濃いと感じるが、訪問時間は1件当たりどのくらいか。</p> <p>その場合の報告書はどのようなものか。</p> <p>特定のフォーマットがあるか。</p>  | 課長・上野 睦 | <p>企業の都合にもよるが、多く回る時で1日4件程度である。1件当たりの訪問時間は、相手に時間がなければ30分程の場合もあるし、訪問した企業に優良事例があって、その状況を伺う場合は更に長い時間をかけている。</p> <p>企業に行ってどんなことを説明したのか、また、優良な取組があればそれを書いてもらっている。</p> <p>とりまとめているものはある。</p>  |

| アドバイザー   | 質問内容  | 説明者職・氏名 | 回答内容  |
|----------|---|---------|---|
| 五味アドバイザー | <p>優良事例や企業の情報は、内部で共有できる方法で有効に活用しているのか。</p> <p>そうした場合、1件の企業に深く関わることとなるが、年間400件も回れるのか。</p> <p>書類を渡すだけではなく、深い話に入る企業は年間400件の中でどのくらいあるか。</p> | 課長・上野 睦 | <p>事業で使うこともある。例えば、職場定着率が低下して困っている企業があった場合、ワーク・ライフ・バランスを推進する事業において、社労士やキャリアコンサルタントを企業へ派遣、助言している。こうした事業の対象になって頂くことでその問題を解決している。</p> <p>企業にも温度差があるので、400件全て深く踏み込めるということではない。課題もなく、紹介だけで終わりという企業も中にはある。具体的な相談や悩みがあれば、それを聞いて、対応出来るものについてこういう施策があるという説明をする訳であるが、それを全ての企業について行うという訳ではない。</p> <p>それほど多くはない。70～80件ということはないと思う。</p> |
| 小口アドバイザー | <p>どういう基準で訪問企業を選んでいるのか。</p> <p>リストアップしたところにアポを取っていくのか。</p>  | 課長・上野 睦 | <p>いろいろな企業情報の中から、なるべく過去と重ならないように年度の始めに計画を立てている。その後、県の施策や法律の施行内容によって計画を変更することがある。例えば、昨年度は女性活躍推進法が施行されたことにより、女性職員の多い企業に訪問するなどした。</p> <p>そうである。但し、1時間の予定でアポを取って訪問したが、相手方の都合で早く終わってしまったので、道中にあった他企業に寄るといふこともしている。</p>   |

| アドバイザー   | 質問内容   | 説明者職・氏名 | 回答内容  |
|----------|--|---------|---|
| 小口アドバイザー | <p>成果目標が難しいと思うが、訪問した企業に何かプラスになったということだと思う。その前段として、いわゆる有効訪問の件数が成果指標の1つだと思う。いくつかピックアップして訪問しても、企業にとって迷惑だということもあるのでは、そういうところが多いと有効な訪問にはならない。例えば、報告書の様式についても、滞在時間、対応者、企業が興味を示した事項を必ず書いてもらう他、伝達事項があれば何を伝達したかなど、何かしらチェックできるものでないと、なかなか有効訪問につながっていかない気がするがいかか。</p> <p>滞在時間は、どれだけ話できたかという指標だと思うので、あまりチェックするようではやりづらいかもしれないが、滞在時間はこのくらいだったという情報も必要である。国では、企業に直接アンケートを送付して、訪問の有効性を調査するくらいなので、県でも企業にアンケート調査を行うなど、少しずつ成果の上がる方向に変えていく必要があるのではないかと思う。</p> | 課長・上野 睦 | <p>簡単な事項は書いてある。訪問した時間帯の記載はないが、いつどこに訪問したか、対応者の役職及び氏名その他、特記事項に企業側の反応を記録したりしている。</p> <p>滞在時間等について記録するよう改善したいと思う。</p> |